

世界が進むチカラになる。



経済調査

ロシア・トルコ景気概況 (2026年4-6月)

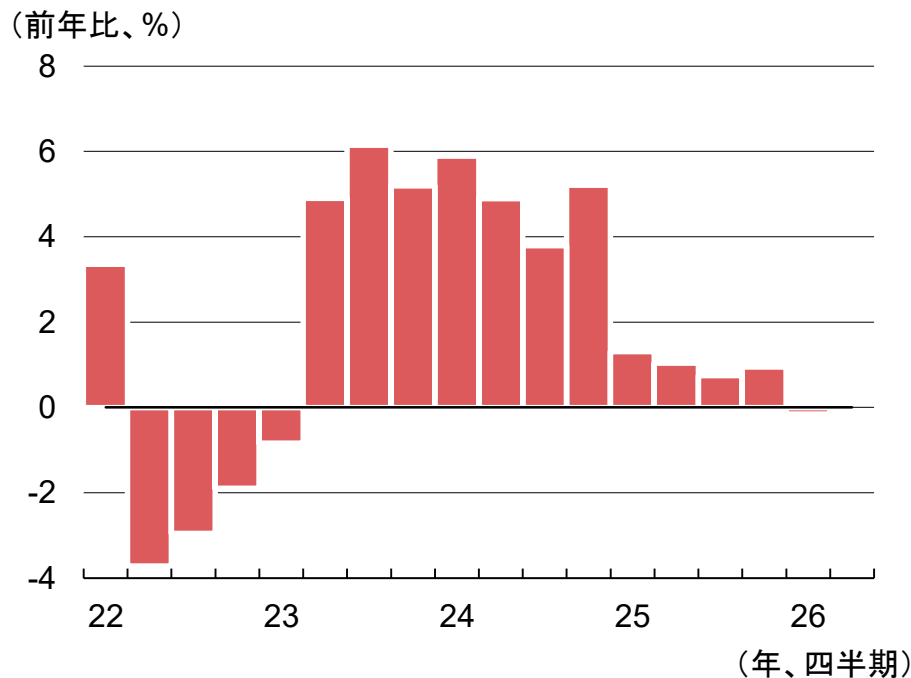
2026年7月1日

調査部 主任研究員 土田陽介

ロシア景気概況① 景気は低迷している

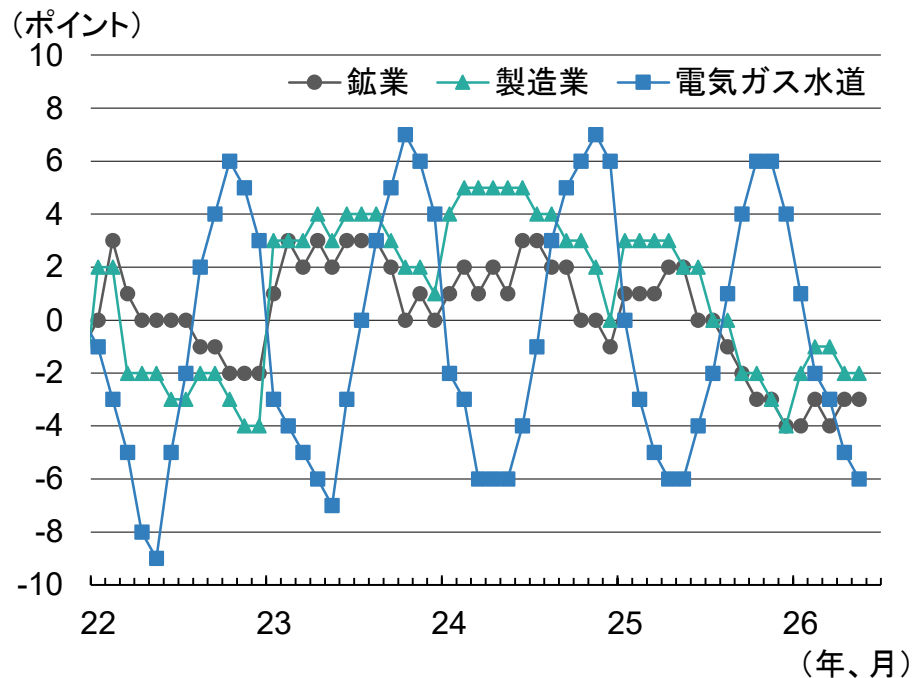
ロシアの1-3月期の実質GDP(国内総生産)は前年比▲0.2%と、2023年1-3月期以来のマイナス成長に陥った。3月単月の月次GDPは同+1.8%とプラスに転じているものの、ロシア景気は低迷していると判断される。一方、4-6月期の企業景況感指数は、鉱業と製造業が底打ちも、低水準で横ばいとなった。

実質GDP



(出所)ロススタット

企業景況感指数



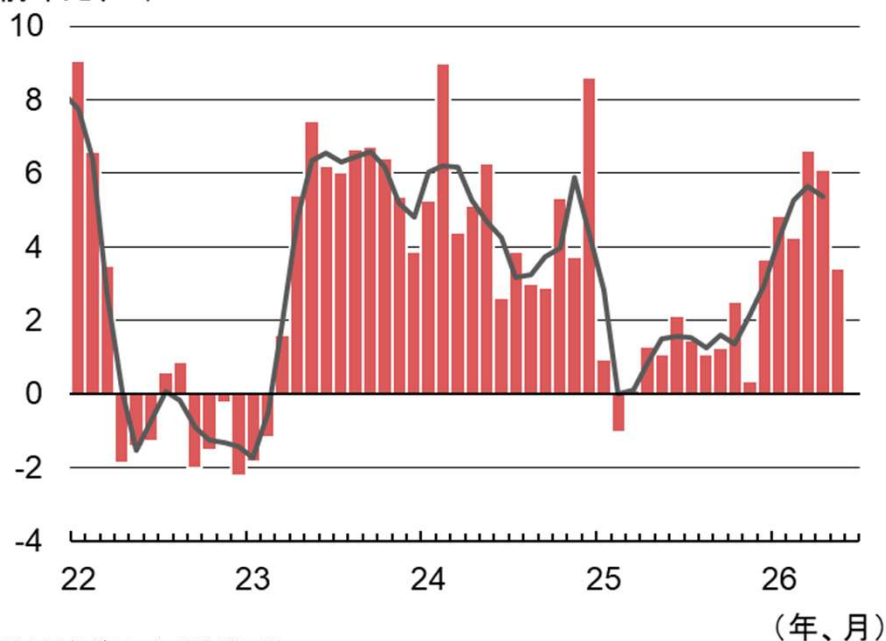
(出所)ロススタット

ロシア景気概況② 生産は増加している

ロシアの5月の鉱工業生産は前年比+3.4%と、2カ月連続で増勢が鈍化したが、均した動きは上向き。内訳を確認すると、鉱業が同▲0.8%と前年割れしたことに加えて、製造業が同+5.0%と2カ月連続で増勢を鈍化させている。鉱業に関しては、ウクライナの無人機(ドローン)などによる爆撃の影響が今後さらに顕在化する見通し。

鉱工業生産

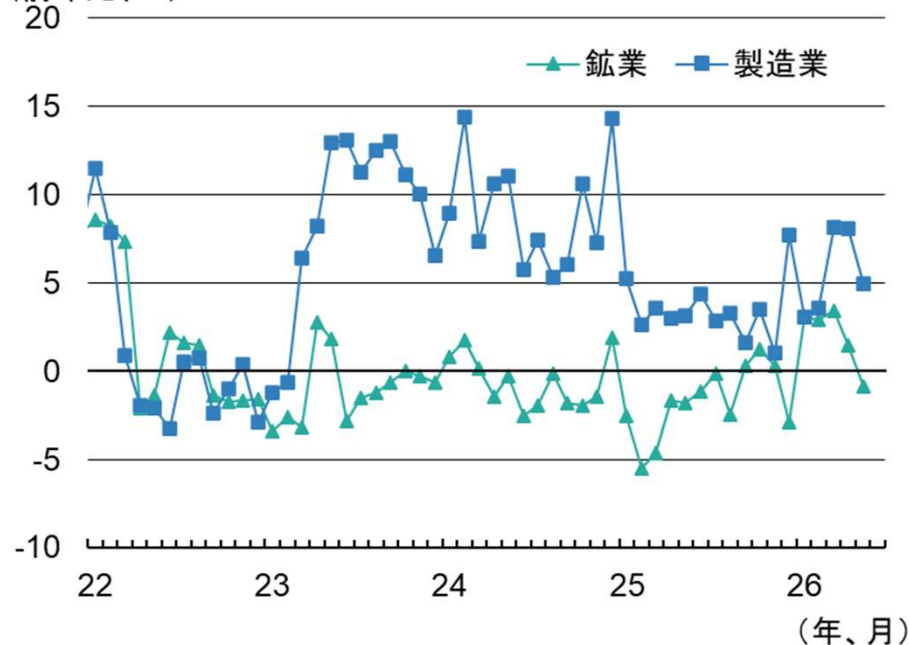
(前年比、%)



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ロススタット

鉱業生産と製造業生産

(前年比、%)

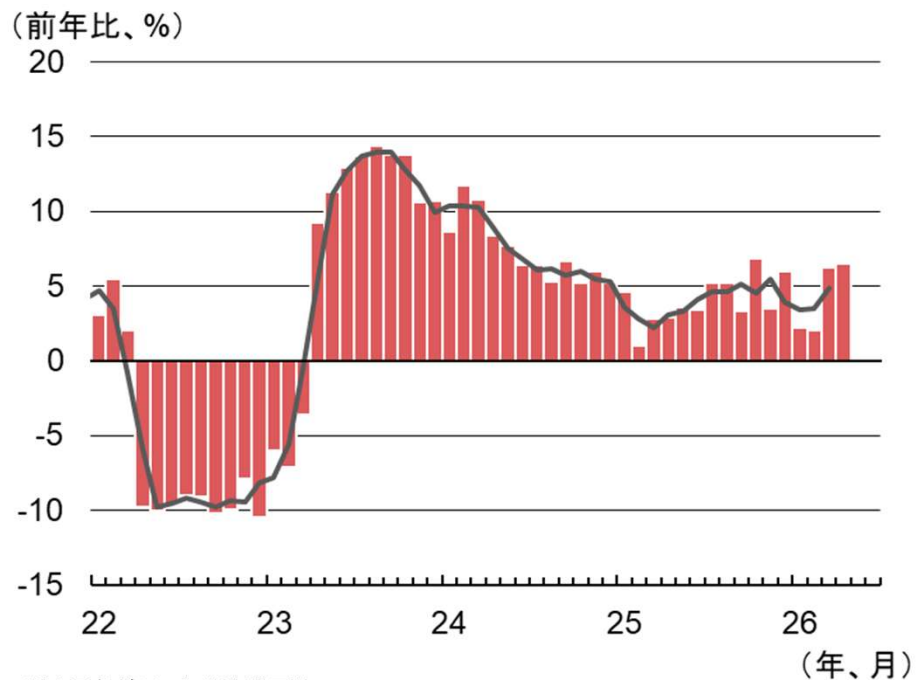


(出所) ロススタット

ロシア景気概況③ 消費は増加している

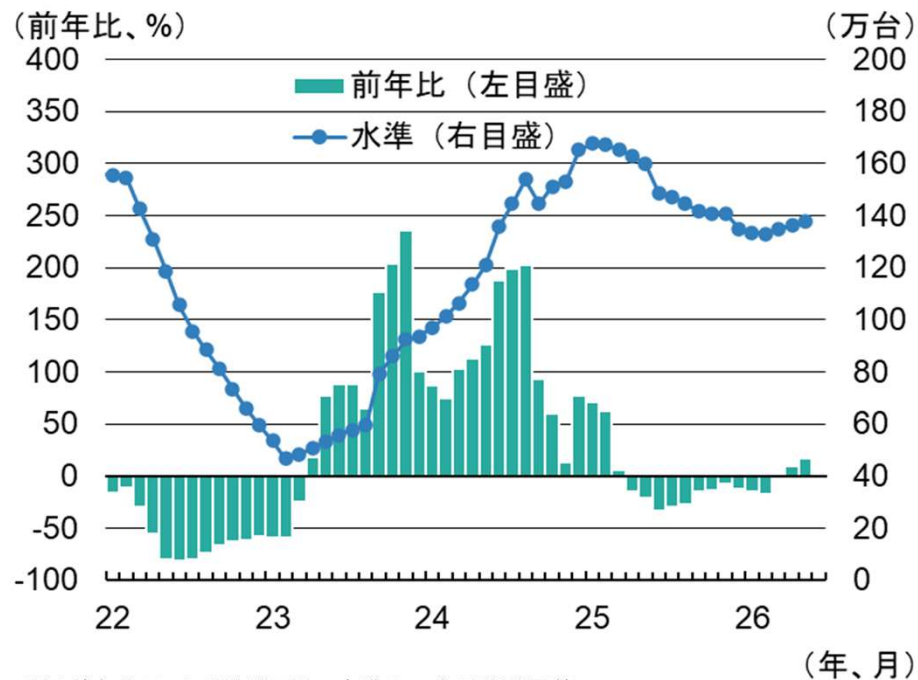
ロシアの4月の小売売上高は前年比+6.5%と、増勢が前月(同+6.2%)から加速し、均した動きも上向き。内訳を確認すると、非食品売上の増勢の加速が顕著だった。一方、ロシアの新車販売台数は前年越えに転じ、市場規模は年間140万台手前のレベルまで回復した。

小売売上高



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所) ロススタート

新車販売台数

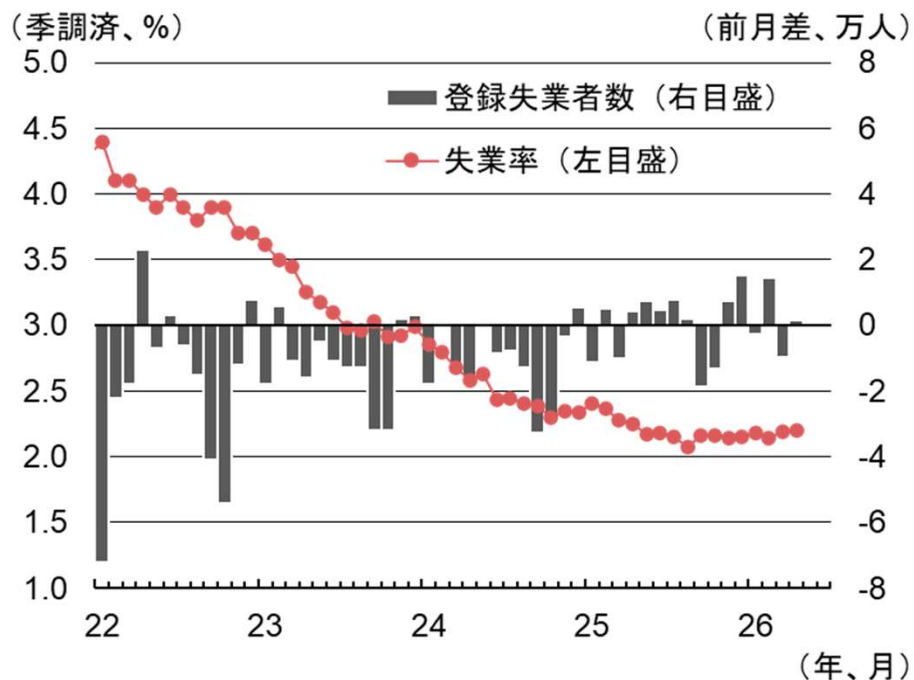


(注) 前年比は3カ月移動平均、水準は12カ月移動累積
(出所) 欧州ビジネス協会 (AEB)

ロシア景気概況④ 雇用は完全雇用の状態

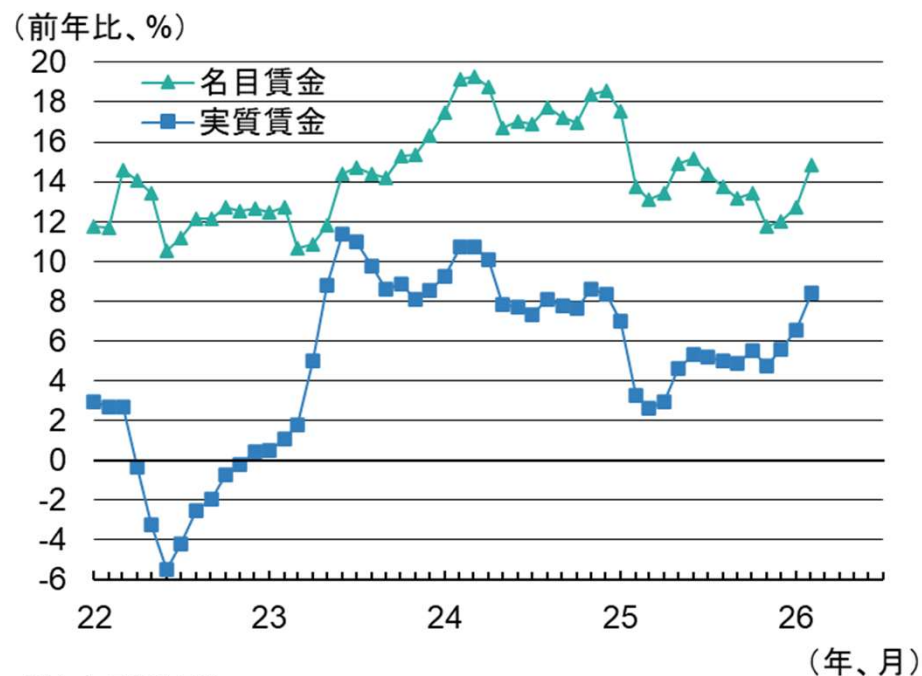
ロシアの4月の失業率は2.2%と低水準で横ばいが続き、雇用は完全雇用の状態と判断される。一方、実質賃金は、年明けの最低賃金の引き上げ(月22,440ルーブルから同27,093ルーブル)やデysinフレの進展を受けて、前年比+8%を超えるレベルまで増勢が加速した。

失業率と失業者数



(出所)ロススタット

賃金動向



(注)3カ月移動平均
(出所)欧州ビジネス協会(AEB)

ロシア景気概況⑦ 金利は上昇、株価は横ばい

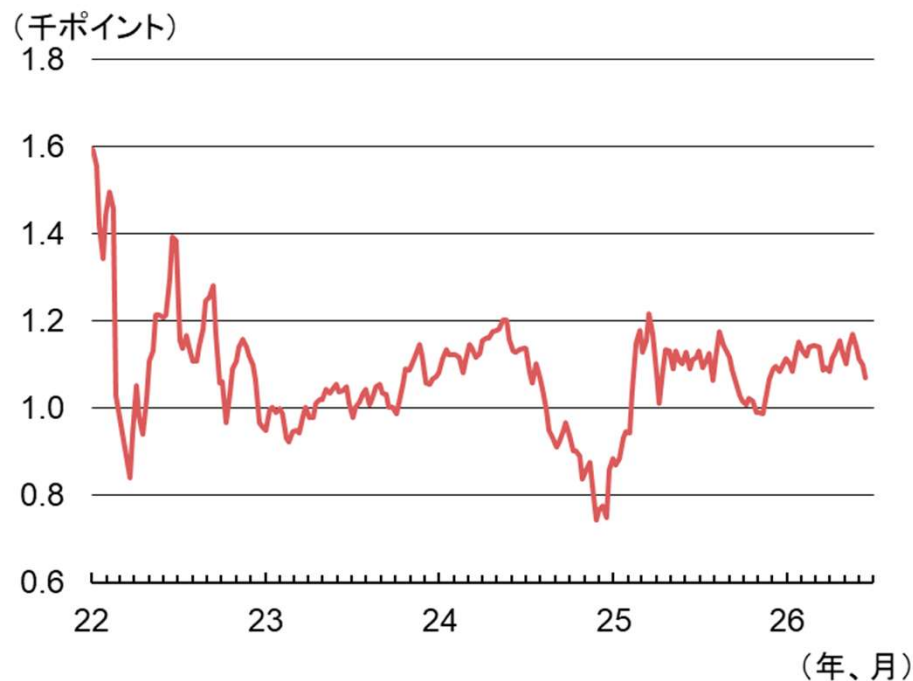
ロシアの4-6月期の長期金利は上昇した。中銀による金融緩和が進んだにもかかわらず、インフレ圧力の高まりや歳出の膨張が嫌気されたものと考えられる。一方、同期のロシアの株価は横ばい。金融緩和が進んだものの、積極的な買い材料に乏しいものと考えられる。

10年国債流通利回り



(出所)ロシア財務省

株価(RTS指数)



(出所)モスクワ取引所

ロシア景気概況⑧ 通貨は対ドル・対円で上昇

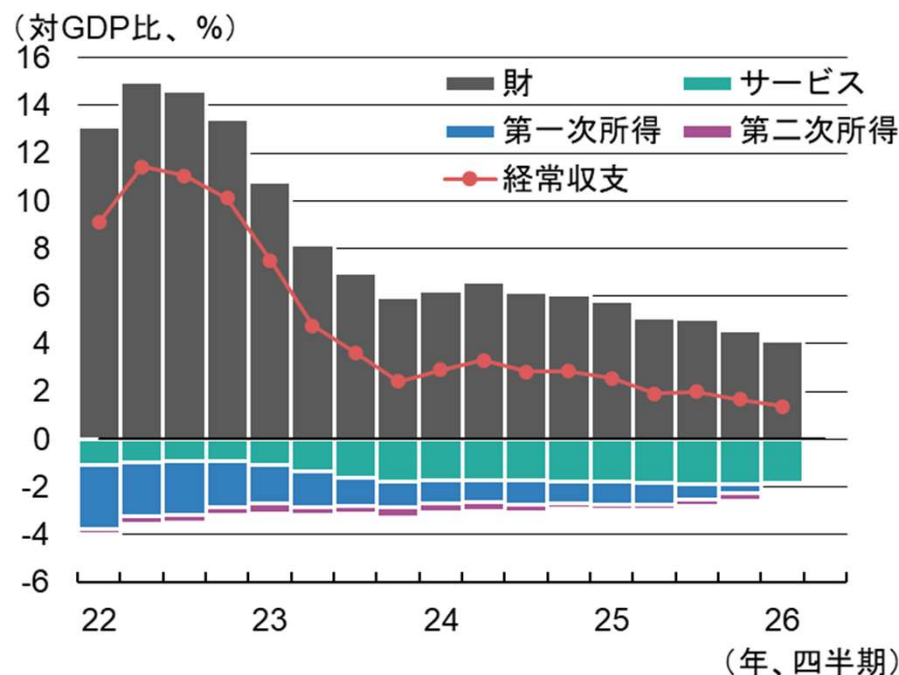
ロシアの通貨ルーブルの4-6月期の相場は、対ドル・対円とも上昇した。国内企業によるルーブル需要の高さに加えて、原油価格の高騰がルーブル買いにつながったものと考えられる。一方、国際収支を確認すると、ルーブル買いの主因となるはずの貿易黒字(財収支黒字)はまだそれほど拡大していない。

ルーブル相場



(出所)ロシア中銀

国際収支

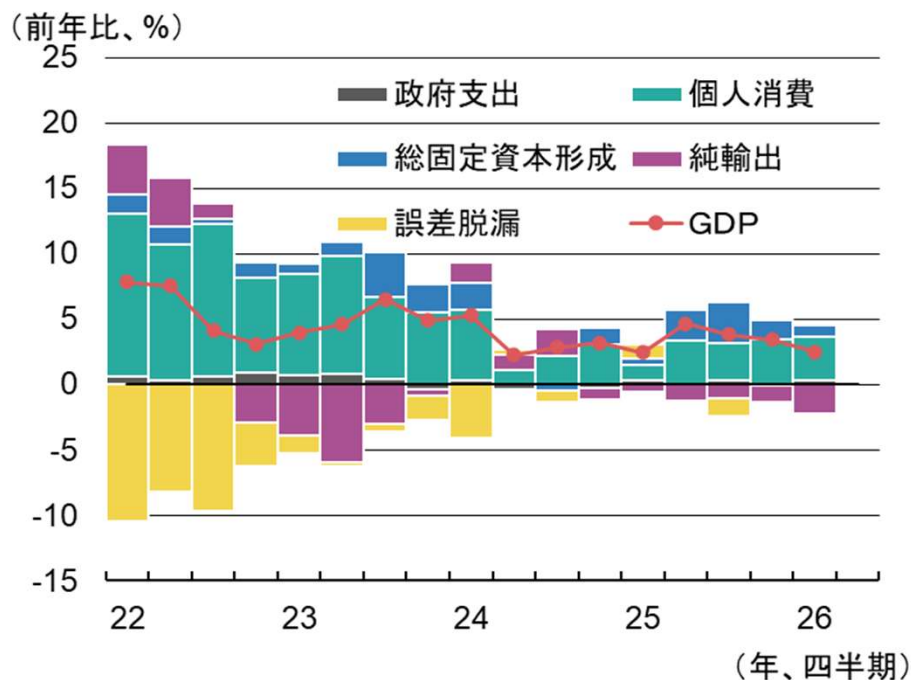


(出所)ロシア中銀

トルコ景気概況① 景気は減速している

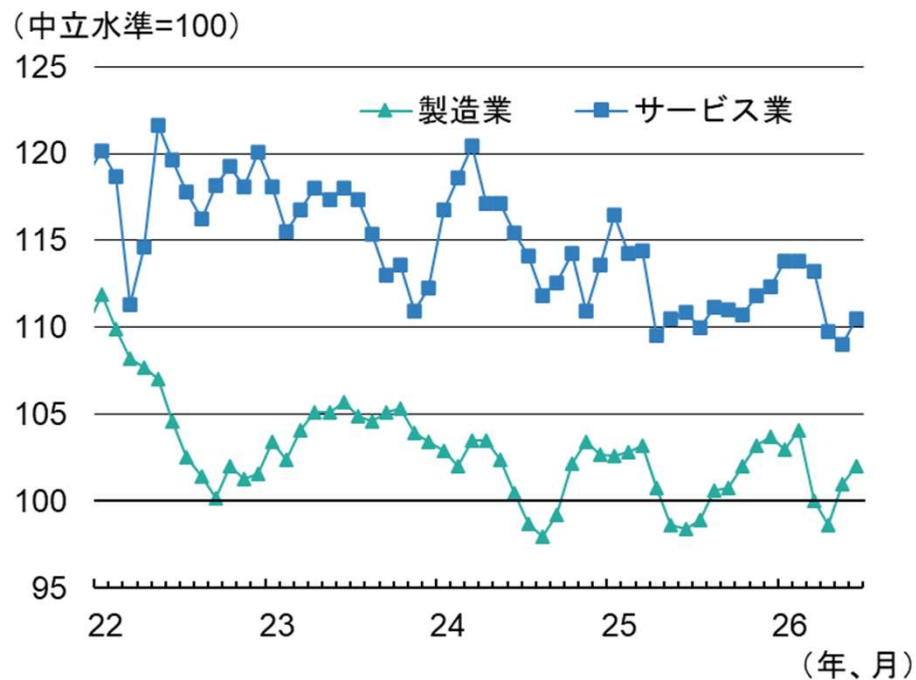
トルコの1-3月期の実質GDPは前年比+2.5%と、3四半期連続で伸びが鈍化した。堅調な内需が景気をけん引した反面、軟調な輸出が経済の成長を下押しした。続く4-6月期の企業景況感指数は、製造業は中立水準を回復したが、サービス業は中立水準を上回るも下振れした。イラン情勢緊迫化の影響とみられる。

実質GDP



(出所)トルコ統計局

企業景況感指数

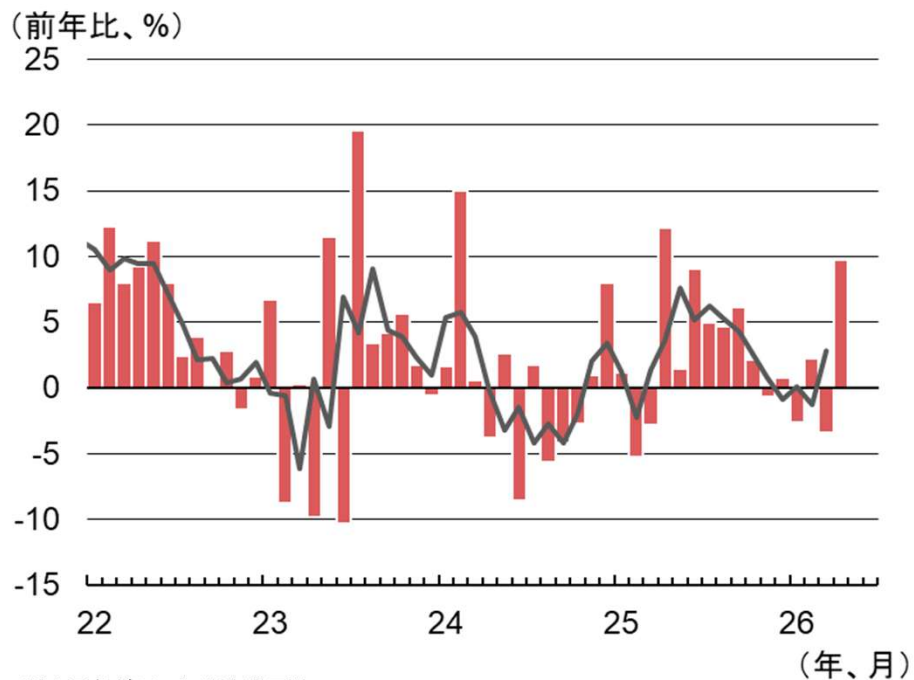


(出所)トルコ中央銀行、トルコ統計局

トルコ景気概況② 生産は一進一退

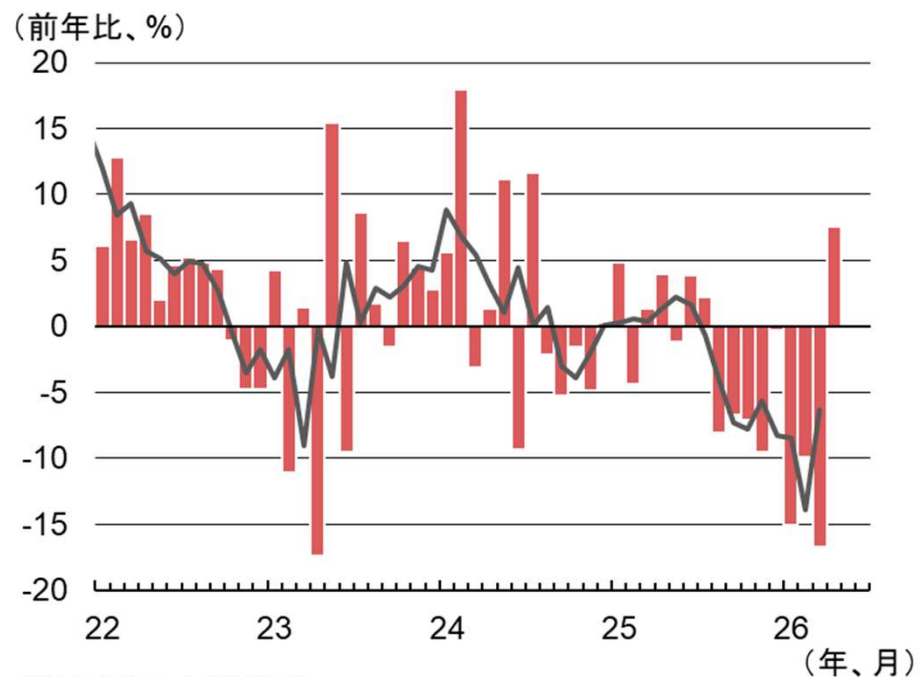
トルコの4月の鉱工業生産は前年比+9.7%と反発し、均した動きも前年越えに転じた。一方、同月の実質輸出も同+7.6%と急反発したが、均した動きは依然として前年割れである。

鉱工業生産



(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所)トルコ統計局

実質輸出

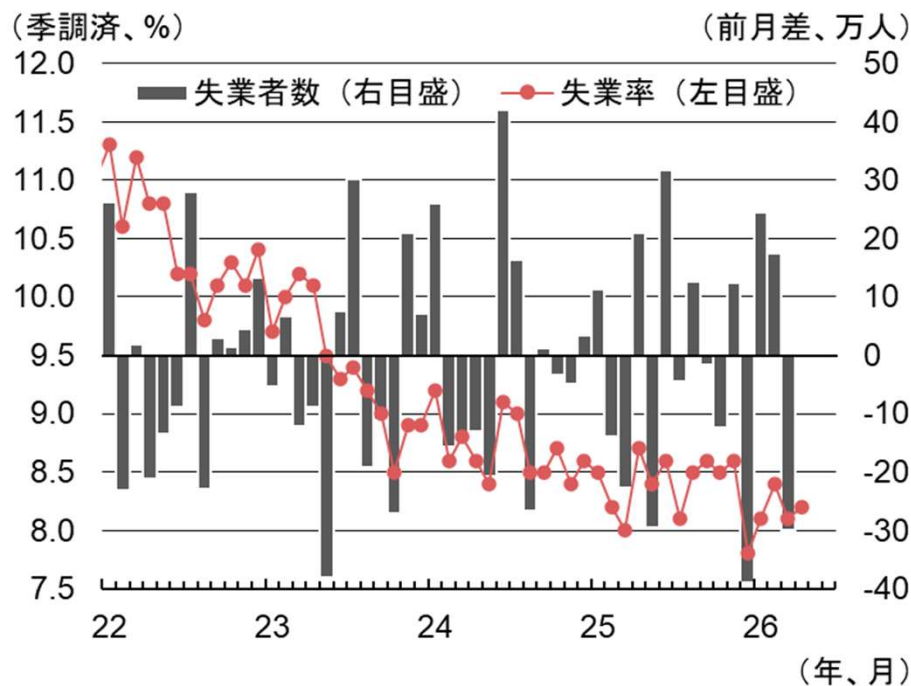


(注) 灰色線は3カ月移動平均
(出所)トルコ統計局

トルコ景気概況④ 雇用は完全雇用の状態

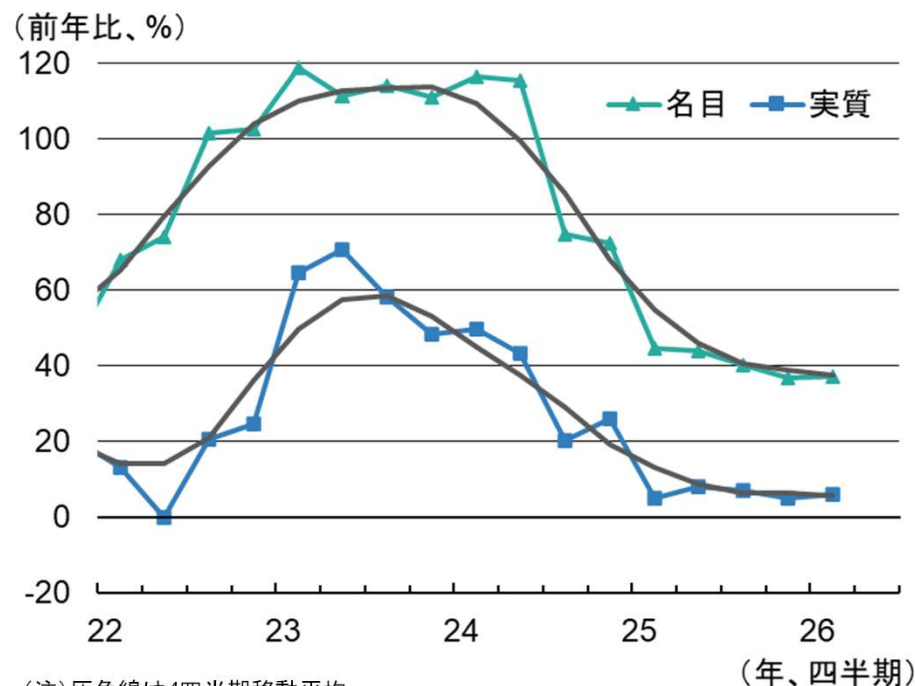
トルコの4月の失業率は8.2%と、低位で推移した。また同月の失業者数は前月差横ばいとなっており、雇用は完全雇用の状態にあると考えられる。他方で賃金・給与指数は、名目ベースでは前年比+40%程度まで、また実質ベースでは同+6%程度まで、増勢が鈍化した。

失業率



(出所)トルコ統計局

賃金・給与指数



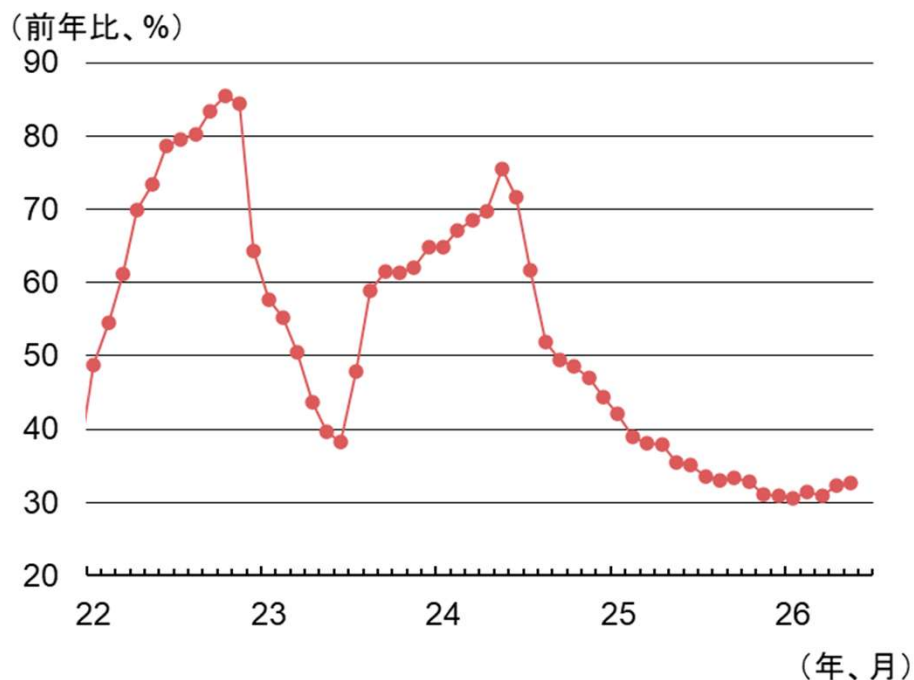
(注) 灰色線は4四半期移動平均

(出所)トルコ統計局

トルコ景気概況⑤ 物価はインフレが加速

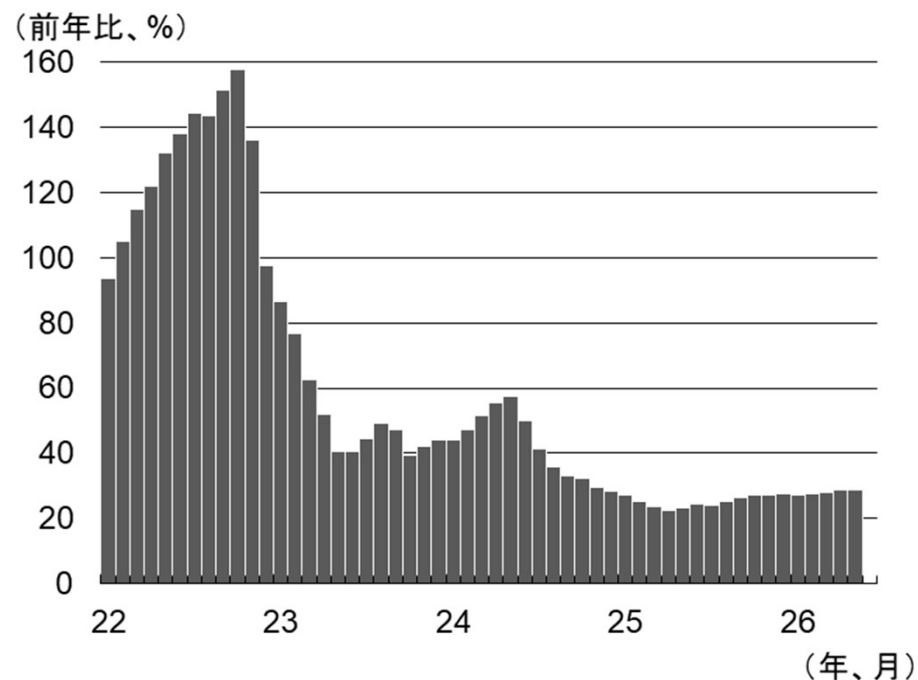
トルコの5月の消費者物価は前年比+32.6%と伸びが2カ月連続で加速した。一方、同月の生産者物価も同+28.9%と伸びが4カ月連続で加速した。イラン情勢の緊迫化に伴うエネルギーショックで、先行きのインフレは加速する見通し。

消費者物価



(出所)トルコ統計局

生産者物価

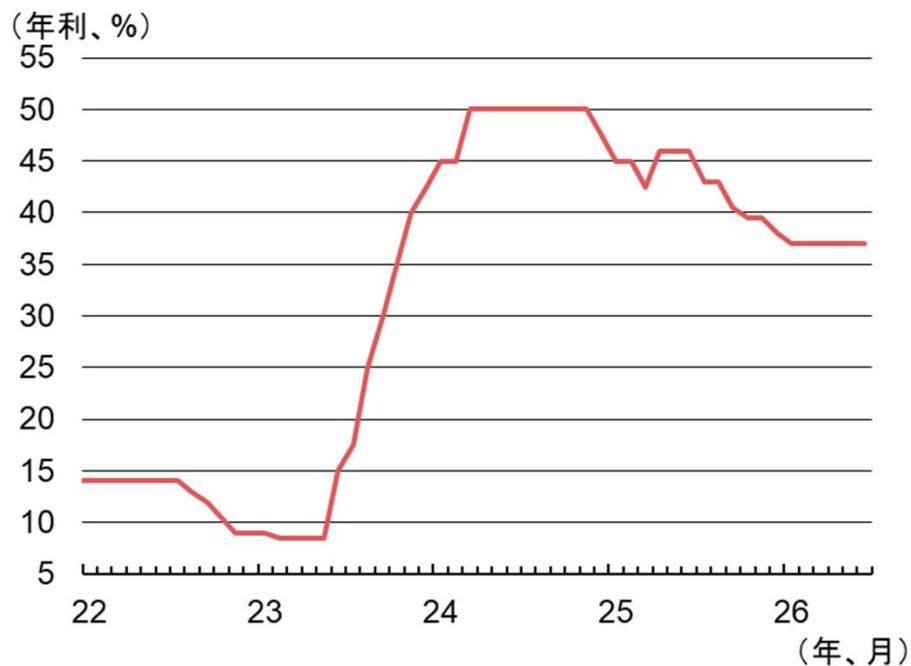


(出所)トルコ統計局

トルコ景気概況⑥ トルコ中銀は金利据え置き

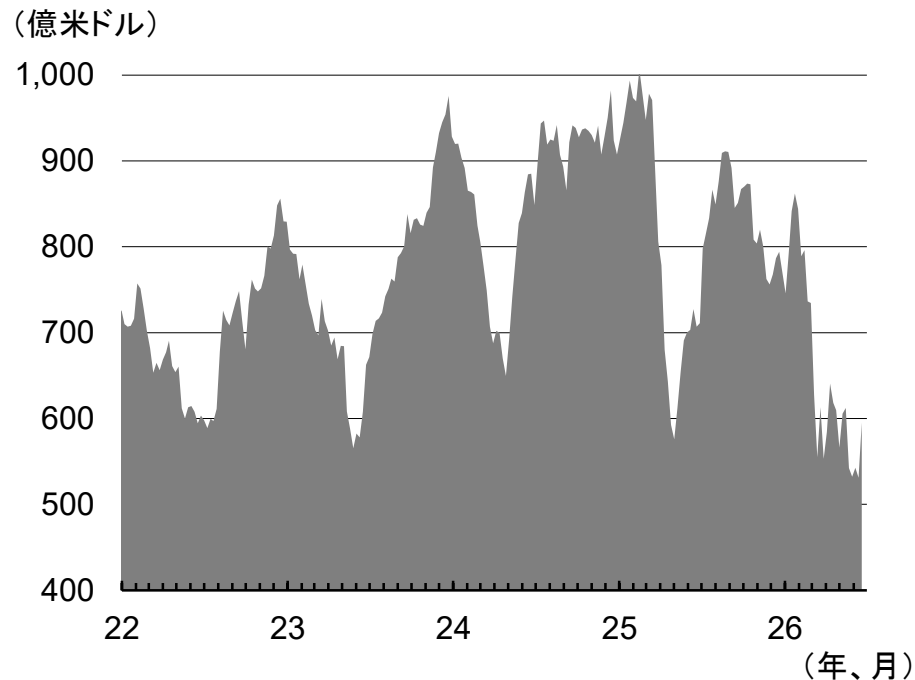
トルコ中銀は6月の金融政策決定会合で、主要政策金利を年37.0%に据え置いた。据え置きは3会合連続。一方、トルコ中銀の外貨準備高は一時600億ドルを割り込むなど、減少が著しい。この間に中銀がリラ買い介入を強めた結果だと考えられる。

政策金利(一週間レポ金利)



(出所)トルコ中央銀行

外貨準備高(除く金)

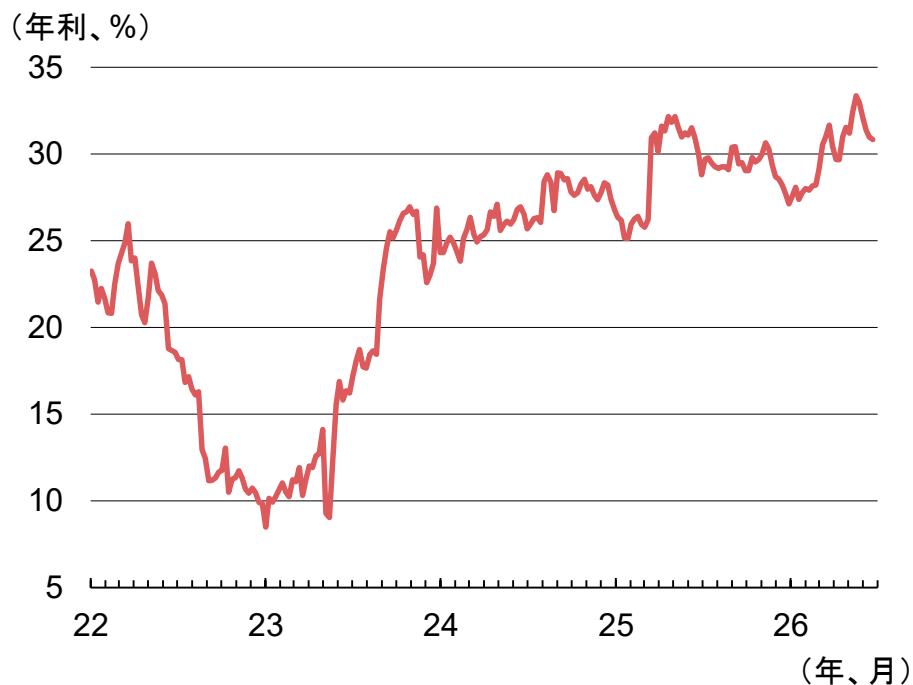


(出所)トルコ中央銀行

トルコ景気概況⑦ 金利と株価は一進一退

トルコの4-6月期の長期金利は一進一退。また同期のトルコの株価も一進一退。イラン情勢の緊張と緩和を受けて一進一退となったもよう。

10年国債流通利回り



(出所)トルコ中央銀行

株価(イスタンブール100指数)

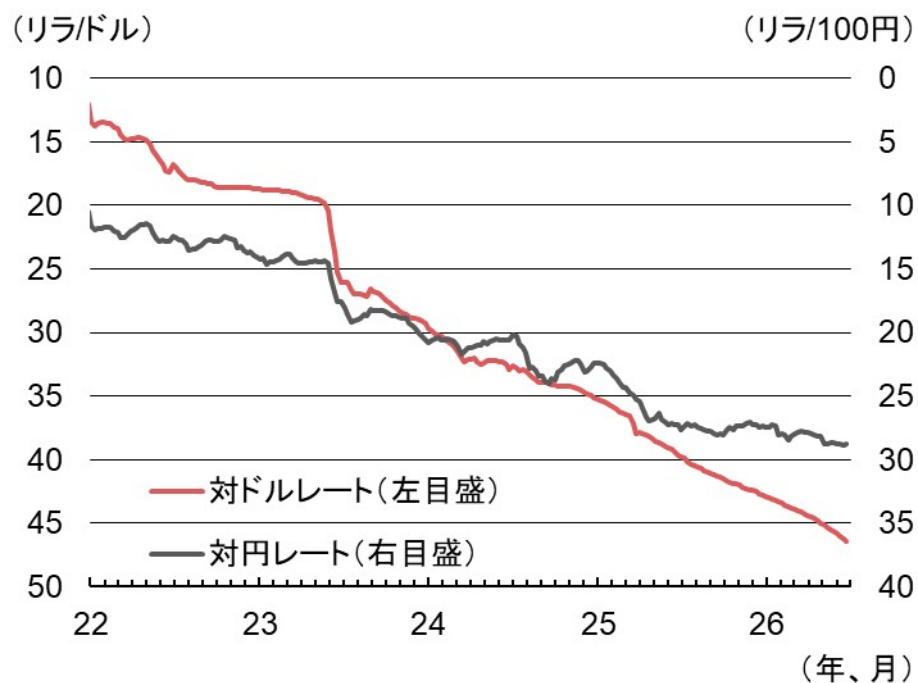


(出所)イスタンブール証券取引所

トルコ景気概況⑧ 通貨は対ドル・対円で下落

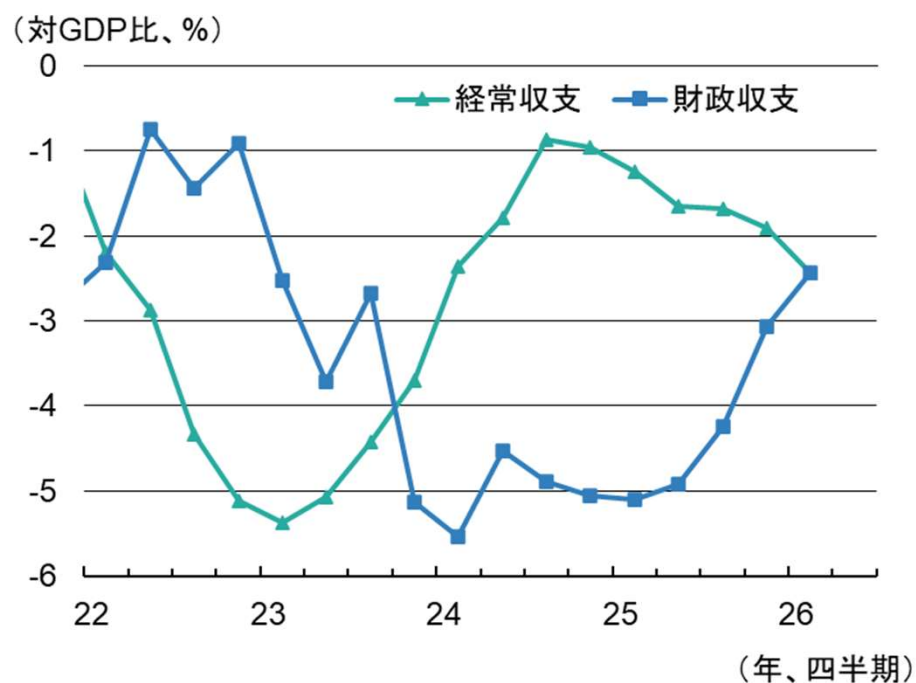
トルコの通貨リラの4-6月期の相場は、対ドル・対円とも下落した。世界的なドル買いの流れの中で、トルコ中銀が追加利上げに慎重であるため、リラの下落に歯止めがかからない状況。他方で「双子の赤字」は、財政収支の赤字は縮小したものの、経常収支の赤字は拡大した。

トルコリラ相場



(出所)トルコ中央銀行

経常収支と財政収支



(出所)トルコ統計局

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 土田陽介

TEL: 03-6733-1628 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー